

祝

令和6年

笑顔の未来へ… 羽ばたいていこう!

大岡校区 二十歳の集い

【主催】大岡連合自治会・大岡地区青少年を健やかに育てる会・大岡コミュニティ推進委員会

【日時】1月7日(日)午前10時 【開式場所】大岡中学校体育館

【参加人数】男性74人 女性70人 (合計144人)



令和6年1月7日(日) 晴天の中、明日を担う新成人の門出を大岡地区住民で祝福し、大岡中学校体育館で【令和6年大岡地区二十歳の集い】が行われました。今年の大岡地区では、新成人司会のもと、多彩な企画で行われました。新成人の皆さんを、地域の方が祝い、励ますとともに、新成人の皆さんは、これまで育ててくれた方々や社会に感謝し、社会的責任を自覚して大人としての行動をとっていくためのきっかけの場としていただければ幸いです。新成人の皆さんは、大岡連合自治会役員・関係者・恩師や家族の皆さんから、たくさんの温かい祝福を受けました。また、頼重市長や沼津ゆかりの著名人(間寛平さん・磯村勇斗さん)からのビデオメッセージなども、『新成人代表の高橋啓一郎さん』からは、成人としての思いを宣誓していただきました。新成人の皆さんは社会の一員としての自覚をより一層深める事となったと思います。そして『今回、日本の沼津市大岡地区二十歳の集いに参加して、素晴らしい経験をして良い思い出になりました。日本で技術を学び祖国に帰って役立てたいです』と、インドネシアからの技能実習生からのコメントもいただきました。皆さん、本日は大変お疲れ様でした。



大岡連合自治会長(左側)
新成人代表 高橋啓一郎さん



司会者
小林七菜さん・川島優輝さん



指揮者・安井玲雄さん



ピアノ伴奏・出口陽菜さん



【会場二番乗り】
米持直貴さん・山西ころさん



【会場一番乗り】
川内垂斗夢さん・中山彩香さん



役員・各自治会長・消防の皆さん



来賓の先生方・新成人の恩師の先生方



夢と希望に満ちた船出の目の思い出のひとつコマ...



～ご来賓および新成人の受付風景～





吉本興業の富士彦さん・お笑い芸人5GAPのネタ・ビンゴ大会・じゃんけんゲーム



本日はありがとうございました。元気でまたお会いしましょう～







2023
県下一斉冬季少年補導

木瀬川自治会の補導

【日時】令和5年12月1日(金)19時
【参加者】自治会三役・協議員・女性部・各役員・地域関係者
【参加人数】55名

最初に自治会長のご挨拶があり、次に大岡南小学校教頭の内村先生から次のようなご挨拶がありました。
【口頭、子供達の安全・安心のため、いつも地域の方に見守っていただき、誠にありがとうございます。本校もインフルエンザ流行のため学級閉鎖が行われていますが、スクールガードや地域の方々には本格的な寒さに向かう時節、無理のない範囲で見守りをよろしくお願いたします】
補導は、非行その他、健全育成上、必要な注意や助言等を行うことにより少年の非行の防止を図り、健全な育成に資することが目的です。今回も、町内の青少年の社会規範の向上を図り、重点的に町内の実状にあわせて巡回し、きめ細かい補導活動を行いました。補導中、声かけ・自転車の無灯・ヘルメット着用などを優しく指導し、その後、本部に巡回報告書を提出しました。

中石田自治会・富士町自治会の補導

令和5年12月1日(金)19時から中石田公民館において、中石田自治会・富士町自治会合同の県下一斉補導を行いました。大岡小学校の校長先生・富士町自治会長のご挨拶の後、2グループに分かれ町内一周を45分かけて回りました。

途中、無灯火違反の方に声掛けをしたところ、すぐに対応してくださり、あとは何事もなく無事に終了！
当日は一段と寒い夜でしたが、20数名の参加者での補導でした。皆さん、大変お疲れ様でした。



～下石田自治会の補導の様子～

年末の交通安全県民運動
12月15日(金)～12月31日(日)

一人ひとりが、交通安全を第一に考え、交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう！夕方に自動車運転する際は早めのライトオン!!



令和5年度 沼津市制100周年記念
第13回めまつソフトバレーボール大会

12月10日(日)に「令和5年度沼津市制100周年記念 第13回めまつソフトバレーボール大会」が開催されました。今回は新しくなった体育館「香陵アリーナ(スポーツアリーナ)」で初めて行われました。

今までは3会場で分散であったり、コロナでチームの参加数が少なかったりということも重なり、参加者があまり多くなかったのですが、今大会はとも多くの参加者で、にぎやかで、かつ、熱い試合が行われたと思います。

大岡からのチームも参加し、結果はともかく、皆さん楽しくプレーができたのではないだろうか。



俳句コーナー

☆つるし柿 ながめているか 名月も
☆老いたりて 淡いコスモス 戻る笑

(権藤 奏)



木瀬川自治会
2023子供会クリスマス会

【日時】12月17日(日)13時
【会場】木瀬川公民館2階
【主催】木瀬川子供会
【参加人数】木瀬川自治会・保護者 含め43名

筋トレ好きと元モデルで突き抜けたキャラクターのお笑いコンビ佐藤兄弟(沼津市)を招いてクリスマス会が昨年と同様に開催されました。木瀬川自治会は子供会に加入する人が少なくなり、コロナ禍が5類に変わった現在、子供たちの笑顔のために、多くの子供たちが集まるようにと企画して参加者を回覧板で募集しました。子供会未加入の子供は参加費500円を徴収。ビンゴゲームをはじめ、物あてゲーム、ジャンケンなどの後、参加者で記念撮影。Wビンゴが出るたびに歓声があがり、楽しいひと時を過ごしました。

そして、サンタクロースおじさんから、次のようなお話がありました。これから暮れになると車の数が多くなります。交通事故に遭わないように気を付け、来年も会いましょう!それから最後にクリスマスケーキをいただき、終了しました。



▲参加者で記念撮影!



▲一番景品ゲット!佐藤兄弟とハイチーズ!

2023歳末助け合い事業
木瀬川自治会 寄せ植え交流会

【日時】令和5年12月3日(日)13時〜
【準備】12月2日(土)

【参加人数】40名 ボランティア6名 計46名(参加者は回覧にて募集)

【会場】木瀬川公民館2階
この会は、共同募金運動の「歳末助け合い運動・地域助成事業」を活用して行われました。今年のスローガン「つながりささえあうみんなの地域づくり」とおり、地域の誰もが安心して、あたたかいお正月を迎えることができるようにと企画。今年で5回目(うち、クリスマス会1回)になります。参加者は、この「寄せ植え交流会」を毎年、心待ちにしています。評判がとても良く、今回もたくさんの方々が集まりました。参加者は花を、それぞれ、個性的な寄せ植えに作り上げ、終了後は喜んでお持ち帰りになりました。皆さんが笑顔になれる機会が一つでも増えるように今後も企画していきます。



▲寄せ植えの作業風景



▲寄せ植えの完成品

中石田自治会
「仲いいだ☆茶話会」

12月18日(月)午後1時より約2時間
中石田公民館にて中石田自治会「仲いいだ☆茶話会」が開催されました。

【仲いいだ】は高齢者を中心とした、年齢問わず、どなたでも無料で参加できる交流の場です。その中の一つが「茶話会」で月に一回、行われ、最近では、幅広い年齢層での参加者も増え、お茶を飲みながらお菓子を食べながら、テーマを決めず、自由に色々な楽しい会話で和気あいあいと盛り上がっています。

本日は、その茶話会で、中石田在住の井口郁子さんが、東日本大震災の体験談を話してくださいました。井口さんの体験談は、仙台市のバスの中で大地震の恐怖から始まり、電気・ガス・水道・食料が不足している中で、避難所へは行かず息子さんとの住むアパートで2人の息子さんと10日間、過酷な生活をしたというお話でした。参加者はその体験談に真剣に耳を傾けていました。

【茶話会に参加して良かった！】ためになるお話も多いし、楽しい！と、これは毎回、参加している方からの感想です。興味のある方は開催日程を回覧板でお確かめください。一緒に楽しくお話しませんか？



▲茶話会の様子



地域で子どもを育てるために
先駆的事例と歴史から学ぶ

【日時】11月22日(水)19時〜20時30分
【会場】沼津市立図書館4階視聴覚ホール【参加人数】84名【主催】沼津市要保護児童対策地域協議会【共催】沼津市民生委員児童委員協議会・沼津里親会【講師】白井千晶(静岡大学 人文社会科学部 社会学科 教授)

【かつての日本の共同養育・他家養育について学ぼう！】

「親」には疑似親・疑似兄弟・取上げ親・拾い親・名づけ親・乳付親・職親などがある。それは「親」としてもメリットもある。葬走・社会的威信・有力な家と関係作り・親族との強固な結びつきが出来た。血が繋がっていてもいなくても、育てても育てていなくても、人生を肯定的に生きて家族の多様性を受け入れる教育がゆき届ける社会へ！講話では、血の繋がりを求める家族観や、自身の幸せの在り方を見つめ直すことの大切さにも触れて、育てやすい、生きやすい社会とは？を改めて考え、地域で子どもを育てるため、先駆的事例と歴史から学ぶことで、かつての日本の暮らし方をプロジェクトにて説明した。☆直屋(すじや)

旧北村家住宅平面図、間取りの説明と江戸時代の長屋：庶民が暮らす長屋は、井戸やトイレ・路地などの生活空間を共有し、2軒世帯が背中合わせに住む棟割り形式の平屋が普通。☆同潤会上野下アパートメント：関東大震災後の復興事業として建てられ、コンクリート造りで16棟。

前庭には井戸・水場・ポンプ。アパートの住民の井戸端談笑する声が聞こえて4階は単身者用の水場・トイレである。☆51C住宅：1951年に計画された公営住宅標準設計のひとつの型の名称。☆三重県答志島・寝屋制度：答志地区では男子が15歳になると数人の仲間と相談し、家の広さや人柄などの条件を考慮して寝屋親を頼みに行く習慣がある☆共住プロジェクト：高齢者の空き室に低廉な負担で若者が同居する次世代下宿のことである。



▲講師の白井千晶先生



▲三重県答志島・寝屋制度。15歳で寝屋親のもと、ひとつ屋根の下で寝食を共にする。

日吉自治会 山神社祭典

令和6年1月13日(土)、日吉自治会館内の山神社で山神社祭典が行われ、日吉自治会の役員と関係者が参加をし、日枝神社の宮司による御祈禱などが無事に終了しました。また、日吉自治会館では恒例の新春餅つき大会も行われ、同時に子ども会主催のゲーム大会も行われ大いに盛り上がりしました。

山神社とは、出土した瓦等から、白鳳期に建立した寺院跡と推測され、平安時代初期にかけて存続したと考えられています。



中石田神明神社 年越し行事

【中石田神明神社 年越し行事】

が令和5年12月31日(日)23時から令和6年1月1日(月)1時30分まで、中石田神明神社の境内で行われた。参拝者は約250名と、とても多かった。

参拝後、甘酒やお菓子を手に乗しそこに談笑する姿が境内のあちらこちらに…。今年、成人を迎える二人の女性は「中石田って毎年、優しいよね」と話していた。その言葉通り、主催者側の神明神社の氏子総代の皆さんおよび中石田自治会の役員さんと参拝者の皆さんとの会話や飲食のおもてなしの様子は、とても和やかな雰囲気、心地良く、微笑ましく、心が温まる感じであった。

また、お札などのお焚き上げの炎が、新年の無病息災・家内安全など、人々やこの土地を守ってくたださるように、勢いよく、暖かく、明るく、境内を照らしていた。

そして、年越し行事は大盛況のうち終了となった。皆さま、大変お疲れ様でした。



大谷選手からグローブが届きました!

アメリカのメジャーリーグで大活躍の大谷選手から、1月16日(火)に大岡小と大岡南小に野球のグローブが届きました。

ミットを使い全校生徒にすぐお披露目をし、子供たちは「大谷選手ありがとう」「ほくも大谷選手みたいになります!」「みんな野球をやりたいでしょう!」と、とても嬉しそうでした。グローブはとても軽くて柔らかく、また左利き用のグローブもありました。

今後は、学校の授業などで活用していく予定とのことです。



▲大谷選手からのグローブ



▲ミットで全校へ披露



▲南小の様子



▲大岡小の様子

大岡南小PTA DAINANNわくわくセミナー

11月25日(土)、大岡南小PTA主催DAINANNわくわくセミナー「竹細工教室」が開催され、約50名が参加しました。

講師に山田様、他3名の方にお越しいただき、PP紐を使用したボール、風車を作りました。作った風車を持って走り回り風車を回したり、講師に作っていただいた竹とんぼを飛ばしたり、親子で楽しい時間を過ごすことができました。



大岡小 ボールと仲良し

令和6年1月12日(金)、アスルクラブスポーツクラブのコーチ2名をお迎えして、児童たちにサッカー練習や、スポーツの楽しさをご指導下さいました。スポーツに関わらず普段の生活でも「諦めない」「次の目標に向かって頑張る」という事が大事というコーチからの言葉に子どもたちは深くうなずいていました。

「次の目標に向かって頑張る」という事が大事というコーチからの言葉に子どもたちは深くうなずいていました。



沼津市子ども会 ドッジボール大会本戦

11月18日(土)、今沢中学校にて第62回沼津市連球技大会が行われました。大岡小からは駅前町子ども会ゴリラファイヤー、南小からは大南ファイターズが参加しました。

当日の選手宣誓は南小の藤田龍生さんと奥田優里菜さんが務め、仲間や家族への感謝の思いを胸に精一杯戦うことを宣言しました。

2位に輝いた駅前町ゴリラファイヤーは敢闘賞もいただき、両校の子どもたちは秋空の下、存分に力を発揮してくれました。



▲選手宣誓の様子



▲練習の成果を発揮!



▲ゴリラファイヤー



▲大南ファイターズ

日吉子ども会
熱気球搭乗体験

令和五年十一月二十三(木)日吉子ども会主催の**熱気球搭乗体験会**が大岡南小学校で昨年に続き行われました。大岡地区の小学生家族を中心に二百八十九名が参加をしました。

今年は熱気球の搭乗待ち時間を利用して、体育館で親子で楽しめる輪投げ・豆移し・モルックを用意し、大変盛り上がりました。

メイン企画の熱気球では朝方の雨の影響が心配されましたが、徐々に天候もよくなり、参加者全員が搭乗することが出来き、大勢の方の笑顔が溢れる一日になりました。



熱気球から町並み堪能 沼津・大岡地区の熱気球搭乗体験 児童ら搭乗体験 小学生や保護者が熱気球に搭乗した 体験会＝沼津市の大岡南小



下石田子ども会
レクリエーション

11月18日(土)、下石田子ども会のバス旅行が開催されました。

来年度からは自治会主催のこども育成部となるため、下石田子ども会としては今年度で最後の活動となります。幸いなことに晴天に恵まれ子ども31人保護者29人が参加し、バス2台で江の島や、江の島水族館を見学しました。

無事に実施することができ役員一同大変うれしく思います。日頃より子ども会の活動にご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。



子ども会 クリスマス会

12月2日(土)、大岡南小体育館で大岡中吹奏楽部を招き、演奏会とビンゴ大会を行いました。最後には有志によるTHE TAI MEのシマエナガダンスの撮影も行いTV放送もされました。



12月17日(日)、大岡小体育館で、役員手作りの段ボールキャタピラーやプレゼント運びなどをチームに分かれ競い合いました。大人も一緒に参加し、地域皆での交流ができました。



沼平町

12月24日(日)、沼平町自治会館に子どもたちが集まり、ビンゴゲームを楽しみました。たくさんプレゼントを持って帰り、子どもたちはとても嬉しそうでした。



大岡地区 どんど焼き

令和6年1月17日(日)、大岡小・大岡南小の各グラウンドにてどんど焼きが行われました。

どんど焼きは年神様が空へ帰っていくのをお見送りする祭事です。正月飾りや、書初めを燃やし、五穀豊穡や無病息災などをお祈りしました。

また振舞や、昔遊びの大縄跳びなどもし、厳かにそして楽しく地域住民が触れ合うどんど焼きとなりました。



▲南小の様子



▲大岡小の様子



▲羽子板遊び



▲豊作・健康を願って…

寿サロン 健康体操

1月10日(水)大岡地区センターにて寿サロンの会員18名が参加し、健康体操が行われた。講師の柴田君代先生をお呼びするのは今回で2回目、前回と同様にツボを押しながら気血の巡りを良くする方法を教えるも



▲柴田君代先生

足先から丁寧にマッサージをしていき、身体がほぐれていくのを感じながら自律神経を整えていった。次第に身体も温まり、あっといふ間の60分だった。



いきいきサロン

沼平町

美空ひばりさん そっくりショー

12月16日(土)14時より、ミスターひばりさんこと、石野悦郎さんを招待して懐かしのひばりさんの歌を披露していただきました。(愛燦燦・真っ赤な太陽・みだれ髪など)石野さんは人気者で、忙しい中での歌謡ショーでした。男性にもかかわらず

歌声が美空ひばりさんのような声で、音域が広く高い歌声に皆ビックリ。嫌なことが多い今日この頃、心のやすらぎを感じたひと時でした。ありがとうございました。



▲石田悦郎さん

下石田

健康体操講座

11月19日(日)今年度2回目の下石田いきいきふれあいサロンが開催されました。今回も9月と同様、講師に市川康子さんをお招きし、健康で長生きするための『健康体操講座』を企画し約30名が参加しました。



▲市川康子先生

リズムに合わせた簡単な手足の運動を組み合わせた体操で、初心者の方でも簡単にできると好評でした。

体操のあとには

お楽しみ品のビンゴ大会が行われ大変盛り上がり、最後にはお土産のお弁当が振る舞われ盛況に終了しました。



認知症サポーター養成講座

大岡中学校1年生

11月14日(火)大岡中学校体育館で1年生を対象に認知症サポーター養成講座が行われ、チームオレンジ大岡の小野隆さんから認知症のメカニズムや、主な症状と接し方を、きせがわ地域包括支援センターの松下さんからは、実際に沼津市でどのような取り組みがされているのかの紹介があった。

そして、先生による寸劇では、家族に認知症の人がいた場合の悪い例と、良い例を紹介され、講座を修了した生徒からは、寸劇を通して「相手の気持ちを考え寄り添う事が大切だ」と思いました」などの発表があった。



▲チームオレンジ大岡の小野さん



▲先生たちによる寸劇



喜楽会

1月28日(火)下石田公会堂にて認知症サポーター養成講座が開催され、喜楽会のメンバー15名が参加した。

今回はチームオレンジ大岡の馬場弘美さんと、海野幸子さんのふたりから、スライドを使って認知症のメカニズムや、認知症の人に出会った時の対応など分かりやすい説明があった。

後半はきせがわ病院の理学療法士からゴムバンドを使い足腰を強くする体操の紹介があり皆で体験し大変有意義な一日だった。



第39回 歳末助け合い助成金事業 餅つき大会

12月10日(日)9時より大岡地区センターにて大岡地区社会福祉協議会主催、大岡連合自治会・大岡コミュニティ・小学生・中学生・三校PTA・民児協・きせがわ地域包括支援センター共催のもと、歳末助け合い「餅つき大会」が開催された。

小春日和の中、天候にも恵まれ約160名が参加し、衛生面には十分注意を払いながら2年ぶりの餅つき大会となった。



コメダ 認知症カフェ

11月16日(木)チームオレンジ大岡主催による認知症カフェを、大岡の喫茶店コメダ珈琲カクラパーク店にて初めて開催した。

軽度認知障害の方やその家族、チームオレンジ大岡メンバーを含め36人が参加した。大岡連合自治会上田会長含め各団体からも視察に訪れ、この新しい活動が注目されている事が伺えた。

参加者からは、たまにはこんなところに来て話がしたい。月に1回は開催して欲しい。久しぶりに大笑いをした。など他にもたくさん感想があった。

高齢化問題は大岡も例外ではない、今後も気軽に参加できるこのようなカフェを定期的に開催していきたい。



映画上映会

11月18日(土)13時30分から大岡地区センターにて、チームオレンジ大岡主催による映画上映会が開催され55名が参加した。

今回上映した「わが母の記」は、小説家・井上靖が自身の家族とのきずなを基に著した小説を原田真人監督が映画化した家族ドラマ。老いた母親との断絶を埋めようとする小説家の姿を映し、母の強い愛を描いていく。伊豆や沼津の牛臥海岸などが舞台になっており身近に感じる映画。



認知症で消えゆく記憶の中で息子への愛を確かめようとする母親の樹木希林と、小説家で息子役の役所広司らの演技が素晴らしく映画の中に引き込まれた。映画を見た感想には「認知症のことや、子を思う母の気持ちなど、いろいろな人間模様が参考になり感動しました」、「自分のことと重なり大変感動し勉強になった」など、たくさんの方の感想があった。



発行/大岡コミュニティ推進委員会 編集/広報部

発行責任者/上田素行

問合せ/大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数/8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>